

救急医療情報キットの作成方針（案） について

●2023年度第3回町プロ協議会で いただいたご意見

- ①ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の項目の追加について
- ②キットの有料化について

●2023年度第3回町プロ協議会でいただいたご意見

①ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の項目の追加について

部会での検討結果	救急医療情報記録用紙の備考欄に記載する。
対応方法	必要であれば、備考欄にACPの判断ができるかかりつけ医等の連絡先を書くなど個別の対応とする。
部会での検討内容	<ul style="list-style-type: none">・救急隊はACPの記載があったとしても必ずかかりつけの医師に確認を行うこととなる。かかりつけ医と連絡が取れない場合には救急搬送となる。・情報が多くなりすぎることにより、救急隊による迅速な搬送に支障をきたす可能性があることから、最小限の項目とすべき。・備考欄にACPの判断ができるかかりつけ医等の連絡先の記載があれば、救急隊から関係者に連絡をするので、必要であれば記載してもらえると良い。

●2023年度第3回町プロ協議会でいただいたご意見

②キットの有料化について

部会での検討結果	キットの有料化は行わない。
対応方法	優先的に配布する対象者（75歳以上の独居高齢者）に無料で配布する。それ以外の対象者（65歳以上の独居高齢者）や希望者には、自作キットの作成を推奨する。
部会での検討内容	<ul style="list-style-type: none">・有料化ではなく、キットを自作してもらうことで、市・市民共に金銭負担が軽くなるのではないか。また、自宅で様式等ダウンロードしてもらうことで、気軽に誰でも作成を行うことができる。・有料化には金銭管理が伴うので配布方法や管理面を見直す必要がある。また、有料化に伴う事務が煩雑化し、事務負担が生じる。・キットを自作することで市民の意識が高まることにつながる。有料化に代わり、キットを自作するために必要な材料を準備してもらう運用が良い。